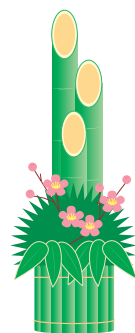


本年もよろしくお願ひいたします。
発電所員一同、一致団結し、より一層の
安全性向上に努めてまいります。



発電所長からの新年ご挨拶

あけましておめでとうございます。
日頃から、東通原子力発電所の運営に格別のご理解・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、当社は昨年6月、東通原子力発電所1号機により確実な安全確保を図るため、原子力規制委員会に対し、新規規制基準への適合性審査の申請を行いました。

本年も、発電所の再稼働に向けて、適合性審査に真摯に対応するとともに、さらなる安全性向上のため、『設備』や『人』の両面から鋭意取り組み、地域の皆さまの安心に繋がるように万全を期してまいります。

今後とも、安全を最優先に、地域の皆さまから親しまれ、信頼される発電所を目指して、所員一丸となって取り組んでまいります。

昨年同様、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまの益々のご健勝をお祈り申し上げます。



東通原子力発電所長
金澤 定男

新年を迎え、新たな気持ちで安全祈願祭を実施しました

平成27年1月6日、田名部神社において安全祈願祭を実施しました。

当日は、東通原子力発電所の所員に加えて、発電所構内の協力会社も参加し、今年1年の安全と無災害を祈願しました。

今後も、協力会社と一丸となって、安全最優先で業務に取り組んでまいります。



今年1年の安全と無災害を祈願しました

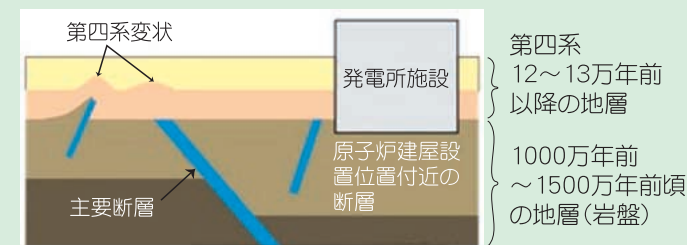
敷地内断層に関する有識者会合の評価書案に対し意見書を提出しました

平成26年12月22日、原子力規制委員会「東通原子力発電所敷地内破碎帯の調査に関する有識者会合」の第12回評価会合が開催され、有識者による評価書案に関する議論が行われました。

評価書案では、原子炉建屋直下の断層については『活動性がない』とされましたが、一部断層については、断定的ではないものの、『活動性はない』とする当社見解と異なる見解が示されました。また、断層を覆う第四系の変状の成因については、『十分なデータが示されていない』との趣旨の見解が示されました。

当社は、追加地質調査を実施し、有識者会合において既存データを含む膨大なデータを提示し、説明を行ってきております。しかしながら、評価書案では、調査データに基づいた総合的かつ合理的な観点からの検討が十分に示されていない部分が見受けられることから、1月15日、社外の専門家の見解等も踏まえ、原子力規制委員会に意見書を提出いたしました。

評価書の取りまとめにあたっては、当社の意見書を十分に踏まえたうえで行っていただきたいと考えております。



緊急被ばく医療訓練を実施しました

平成26年12月17日、東通村診療所と東通消防署のご協力をいただき、緊急被ばく医療訓練を実施しました。

この訓練は、平成24年5月18日に東通村診療所と締結した「傷病者の診療に関する覚書」に基づき実施したもので、当日は、発電所内で傷病者の除染および応急処置、東通村診療所への搬送および医療処置などの手順について確認を行いました。

今回の訓練で抽出された課題は今後の訓練にしっかりと反映させ、緊急時における対応の実効性をより高めてまいります。

※同診療所は、青森県が定める「青森県緊急被ばく医療マニュアル」において、初期被ばく医療協力支援機関として指定されております。



発電所内「除染室」での除染や応急処置の様子



傷病者を救急車で搬送する様子



東通村診療所での医療処置の様子